

生活に沢山活用されている木

日本の森林の歴史と現状

日本人が、縄文時代の頃から木の種類や性質を使い分けて上手に利用していたことが、日本各地で掘り出される遺跡などから分かっています。例えば、木を切りたおすための石斧の柄にはヤブツバキなどのかたい木、かりに使う弓には固くてしなるカシの木、木の器にはけずりやすいトチノキ、住居の材料にはカシやヒノキ、クリ、シイなどが使われていました。目的によってまさに適材適所使われていたのです。



木の役目

木は燃えるけど、表面のみが燃えるだけで中心に熱が伝わるのを防ぎます。

今、地球温暖化が世界で問題となっています。樹木は光合成をすることによって、温室効果をもたらし原因のひとつである、二酸化炭素を体内に炭素として蓄えます。

木がくれる安らぎ

木は音や光を直接反射せず柔らかく受け止めてから反射したり、人体に影響のある紫外線を吸収したりして、目や耳、肌をやさしく、私たちが守ってくれます。また、空気をきれいにしてくれます。

木のもよう

フシのひみつ。木には「フシ」というものがあります。ですが、このフシとは木に弱点でもあります。フシが大きすぎると右の図のように弱い力で木が半分に分れてしまいます。なので、建築などに使われる時はフシの部分を除くのです。

日本の林業の抱える問題

- ① 森が荒れていて木の伐採がむずかしい状況になっています。理由は、日本の木は間伐されていないので木が細く、密集しているのも木が一本でも倒れてしまうとドミノたおしのように山くずれが起ってしまいます。なので日本は災害のために木が使えない状況になっています。
- ② 林業の仕事をする人が減っているし、日本の文化がおとろえてしまっています。
- ③ 外国からの木の輸入の値段が高くなっている。なぜなら、ロシアとウクライナの戦争により、ロシアから木の輸入ができなくなってしまうからです。なので、どんどん値上げしてしまい、予約までしなければならぬ状況になっています。

日本の森林の未来 私 의견

木は使うべき？

守るべき？

木は守るべき。なぜなら日本の木は現在減っているから大切にしなければならぬため。だが、日本に痩せている木がほとんどなので、間伐には賛成です。なぜなら、間伐をすることで木の根元に日光が当たり、木が太ったたくましい木になるからです。

これからの林業

日本の木の歴史

日本人が木を使い始めたのは縄文時代です。縄文時代は火を燃やすために木を使っていたそうです。676年には始めて森林伐討禁止令が出ました。1500年〜1800年代にかけて人口が増加し、植林が始まりました。明治時代は森林が最も荒れたと言われています。戦争が始まると全国がハゲ山になってしまいました。終戦後は各地になかった大洪水が起こってしまいました。政府は植林を進めました。なので当時は植林ブームとなりました。



日本の木の魅力

日本は昔から木を使っています。世界最古の木材建築は607年に建てられた法隆寺です。1300年以上経った今も建立当時のすがたを現在に伝えています。鉄やコンクリートでも100年ほどと言われています。世界と比べても、日本の木材建築は長い歴史があります。昔からの技術が、今の日本の誇り高い技術です。世界にもその凄さを証明できるほどに今、なっています。

木の国産材と外材の比較

木材には輸入材と国産材の2つがあります。原産品が違うのでそれぞれに特徴があり、国産だからと品質が良く、輸入材だから劣っているようなことはありません。現在、日本では多くの木材を輸入していますが、コロナによって起こったウッドショックの影響などがあり、各国で輸入制限が掛かっている木材も増えました。そのため植林などを行っている事業があります。



日本林業が抱える問題

日本の林業の抱える問題

世界の森林破壊
世界の森林は減少し続けています。南米では1時間ごとにサッカー場150個分の森林が消失してしまっています。

違法伐採

国が決めた量よりも多く伐採したり、許可されていない場所を勝手に伐採したりする違法伐採が問題とされています。ですが、最近は違法伐採の木を買わないように対策をされています。

ウッドショック

輸入木材価格が急激に値上がりしたことをウッドショックといいます。現在も価格は高いままです。



日本の森林の未来

私はこれからも森林は守るべきだと思います。理由は、林業で働く人が減ってきていて1980年の方が現在より働く人が多いからです。また、木をたくさん使うことにより森林破壊してしまい、土砂崩れや、洪水が起こりやすくなり、森林の環境がさらに悪くなってしまうかもしれないからです。さらに昔より植林が減ってきています。なので私はこれからも森林は守るべきだと思います。



日本の森林の未来のために木を大切にしよう

日本の森林率

日本の森林率は、六十七%です。日本の国土の約7割が森林です。森林が多いと木がCO2をすって酸素を出すとこの働きがあります。そして、水をきれいにしたためる働きがあり緑のダムと呼ばれるています。また、生き物がたくさん住んでいて自然豊かです。

日本の木造建築

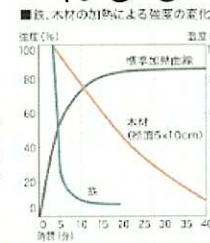
日本は木の文化を持つ国です。世界最古の木造建築は607年に建てられた法隆寺です。世界と比べても日本の木造建築には歴史があり、高い技術があります。割りばしも日本で生まれました。割り箸を割ることは、「事をはじめ」という意味があり、祝い事などの時にはいつも真新しい割り箸が用意されてきました。今では様々な場面で使うようになっております。明治時代に杉の余った部分の木を活用するために作られるようになりました。日本製の割り箸は現在間伐材で作られています。しかし、現在は約九十%以上の割り箸はほとんど中国から輸入した物です。

いつからどのようなように使われてきたか

日本人が森を使って生活してきたのは縄文時代からです。日本人は、三千年以上も前から火を燃やすために木を切ったり、森で取れるキノコやどんぐりを食料にしています。また、くりやうるしの木を栽培して使っていたこともわかっています。また動物を狩るための弓や、先をとがらせた棒として、木の性格を分かって使っていたようです。

木の魅力

木は温かくて柔らかくて木は長持ちします。そして、使えば使うほど味が出て、木は火に強いです。



木は節があるところも折れやすいけれど、節がないところは木はねばって折れにくいです。杉の木は少し赤黒い色でヒノキの木は白めの色です。木は切られた部分を皮で保護しようとしています。そして、コブも周りを包みます。

林業従事者の減少

林業では雨の時は休みになる会社もあるのに、梅雨の時期などは生活が厳しくなると言われている。木を切ると木がどの方向に倒れるかわからないので死亡やけがなどの労働災害があり、減少はしているけれども発生率は他の産業の約十倍だからです。今も自給率が約四十%と低いので今後も林業従事者が減少すると自給率も減少してしまいます。

日本の森林の未来

私は、両方だと思っています。理由は、日本は木の文化を持つ国なので木は使うべきだと思います。しかし、今は林業従事者が減少してきていて、自給率が下がってきてしまったり、山が荒れていってしまうかもしれないからです。そして、日本は外国の輸入に頼っていて世界中で木材の値段が上がってきてしまっている。木は守るべきだと思います。私は、人工林を適切に切り出し、切った木を無駄なく使ったらいと思います。そして、普段の生活中でメモなどの紙はうらも使ったり木で作っている物の使用量を減らしたりすると守ることができると思います。



日本の林業の伝統を守ろう！

日本の山は一度ハゲ山になった!?

日本はなんと、国の91%が森林なのです！そのとても高い森林率を使って日本は昔から伝統的な技術をほこっていたりし、木材をいかす仕事も盛んです。しかし、一度はハゲ山になってしまったのです！その理由はなんと、木の使いすぎだったのです。森林がないと、二酸化炭素を吸ってくれないし、酸素も排出できなくなり、動物のすみかがなくなってしまう可能性が高いため、林業だけでなく自分達の生活にも影響が出てしまう恐れがある。だから私は、使いすぎたら大きな影響が出てしまうので使わずに良いと思う。現在の状況は増減なしです。なぜなら、日本の森林面積は1966年から2017年の約50年間でほぼ同じ数値をキープしている。

木は燃えにくい！

例えば家を建てるとしたら素材を木にするか鉄にするか迷ったらほとんどの人が鉄を選ぶと思います。しかし、違ったのです。例えば鉄の家が火事になったとすると鉄はすぐに溶けてフニャフニャになってしまいます。ですが木は耐久性があり例え火事になってもうすぐ崩れてしまうの可能性は低いのです！



昔から崩れない日本のお寺

木は腐ったりすぐに崩れてしまうイメージがあります。でも、実は違うのです。例えば銀閣寺を例にしてみると、銀閣寺は1482年に建てられ、現在まで一度も建て替えられることなく残っています。つまり木は約500年もの間腐ったり崩れてしまったことがないということになります。また、木でお寺などを建てると自然とマッチしてとても綺麗に見えます。それに対して私たちが普段使っている机は横から見るとシマシマの模様ですが何枚も重なっています。このような木は表面はフィルムなどを何枚も貼り合わせて作られています。シマシマの模様はプリントした物やスライスしたものもあります。



木材自給率の低下!?

今、日本は木材自給率がどんどん減ってきてしまっているのです！自給率が減ってくると完全に外国の輸入に頼ってしまい、もしその国に何かあって輸入がストップされてしまったら、国内産のを使いたくても使えるほどの自給率がなかったら困ってしまう可能性が高くなる。また、日本は昔から、伝統的な技術を世界や全国各地に広めていったのも全て崩れてしまう。

木は使って守るべきだ！

私は木を使って守るべきだと思います。理由は木を使うと日本の伝統的な技術をもっと高めたり、もし輸入している国に何かあって、輸入が止まってしまったら、国産品のを使うことができるからです。でもそのようにするには働く人を増やさないとはいけません。森林を大事にしないといけない。働く人を増やすことは、今後私たちの課題になってきます。私はこのことが自分に与えられた使命だと感じました。また、守るべきでもあると思います。理由は、木を守らないと森林環境の悪化につながるし、使いすぎるとまた、ハゲ山になってしまい、日本の伝統的な技術もたくさん伝えることができるから。使う守るで良さが違うのでどっちとも活用して日本の森林や林業を豊かにしていった方が良い。



木は役割をしっかりと持っている!?

日本の森林率は67%の大森持ち!しかし、ハゲ山になったことも…

この日本は大森持ちで先進国の中で森林率はなんと2位!森林が多いことで私たちの生活に役に立つことはたくさんあります。例えば、森林は人にとってあまりいらぬ二酸化炭素を吸収してくれ、私たちに必要な酸素をだしてくれたり、動物のすみかにもなっているなどの役割を持っています。そんな日本もハゲ山になったこともありました。第二次世界大戦が始まった時木がとも必要になり世界各地がハゲ山になったそうです。そして、今までになかったような大洪水が起きたそうです。



木の魅力について

皆さんは木の魅力をどれだけ知っていますか?木は鉄と違い温かみがあったり、優しさがこもっていたり、長く使えば使うほど味が出る!というような魅力があります。そして、木には人間と一緒に顔があり色や形などが木によって違い、杉の木は赤黒い幹で、ヒノキは色白というのが特徴です。また、ヒノキはとてもいい匂いがするということのも一つの特徴です。

木には日本の文化がたくさん詰まっている!

木は昔から建物を作る時に使われてきました。その中でも今でも世界のお寺として残っている銀閣寺。この銀閣寺はこれまで一回も修理したことがないそうです。なぜそんなに長く使えるのか?それは、木は腐りにくいという性質を持っているからです。そして日本の林業の方々は神社やお寺に送る木材と建築の木材と分けています。この木材を取り扱ってもらおう神社などを探するのに3年ほどかかるそうです。こうやって、見つけた神社で御祈願のようなことをするそうです。



林業はいろいろな問題を抱えている…

林業は木を伐採したり、お手入れをしないといけなくて怪我をしやすい仕事なので危ない仕事の上位に入っていて、最近では、林業の労働者が減っていったり問題があります。この林業の人達が減少していくと、木の魅力を伝えていく人が少なくなり、日本の国民に木の歴史などを伝えられなくなってしまいうという問題などがあるそうです。

このことについて三木市の「桧野商」の社長さんに聞いてみると「これからの未来であなたがこの魅力について伝えていってほしい。これがあなたたちにとっての課題です。」とおっしゃっていました。私は木が好きなので魅力を伝えていきたいです。



木は使うべき?守るべき?

私は木を守るべきだと思います。なぜなら、木を使いすぎると自由に木を切り落としてしまい森林破壊が起こってしまうからです。森林が破壊されると日本の環境も破壊されてしまうのでダメだと思います。そして、日本はしっかりJASマークが付いていて少し安心に木材を使えるけれど、大きな会社ではない小さな店舗などに売っている木材の商品はしっかりとラベルや裏のシールなどを見るべきで、ちょっとした警戒が大切だと思います。しかし、外国からの輸入に頼りすぎているし、今コロナでウッドショックなどになっているから国産の木も少しは使ったほうがいいと思いました。